

授業科目名・形態	介護の基本V 講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	関口 麗子	実務経験の有無	有	開講期	2年前期

【授業の主題】

尊厳を守り自立を支援する基本理念をもとに、地域を基盤とした生活の継続性を支援するための仕組みを理解し、介護福祉の専門性としての能力と態度を養う。

【到達目標】

- 1) 福祉職のみならず、関連領域である保健医療分野や行政機関等とのチームアプローチについて、その意義と実践方法を学ぶ。
- 2) 多職種協働による介護を実践するために他の職種の専門性や役割と機能を理解する。
- 3) 介護従事者自身が心身共に健康に介護を実践するための健康管理や、労働環境の管理について理解する。

【授業計画・内容】

- 第1回 「多職種連携・協働」①・・・介護実践における連携の意義と目的
 第2回 「多職種連携・協働」②・・・多職種連携・協働における社会的背景
 第3回 「多職種連携・協働」③・・・関連領域の理解と相互連携
 第4回 「多職種連携・協働」④・・・求められる基本的な能力
 第5回 「多職種連携・協働」⑤・・・多職種協働に求められるコミュニケーション能力
 第6回 「多職種連携・協働」⑥・・・保健・医療・福祉職の役割と機能
 第7回 「多職種連携・協働」⑦・・・保健・医療・福祉職の役割と機能
 第8回 「多職種連携・協働」⑧・・・地域連携の意義と目的
 第9回 「多職種連携・協働」⑨・・・多職種連携・協働の実際 事例検討(グループワーク)
 第10回 「多職種連携・協働」⑩・・・グループワーク発表
 第11回 「介護従事者の安全」①・・・健康管理の意義と目的 法律、制度について
 第12回 「介護従事者の安全」②・・・こころの健康管理
 第13回 「介護従事者の安全」③・・・身体の健康管理
 第14回 「介護従事者の安全」④・・・職場の労働環境の整備
 第15回 まとめ

【授業実施方法】

基本的には講義形式で行う。

【授業準備】

予習においては教科書の該当頁、関連書籍の該当頁を読み、理解できない箇所を明確にする。

【主な関連する科目】

介護の基本、生活支援技術論 発達と老化の理解 コミュニケーション技術

【教科書等】

「最新・介護福祉士養成講座 4 介護の基本Ⅱ」 <中央法規>

【参考文献】

適宜、紹介します。

【成績評価方法】

小試験・前期定期試験等 90%、授業態度等 10%により総合的に評価する。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

医療機関での看護職として患者や家族への対応等を経験
 臨床場面での患者や組織のマネジメントの経験を活かし、こころとからだのはたらきやしぐみに
 関する基礎知識を理解し、それが生活機能に結びついていることを総合的に学習できることを目
 指しています。

さらに日々の生活を安全、安楽に過ごしていくために、異常・危険・感染への対応や多職種との
 連携をとることの重要性も示していきたいと思えます。

【学生へのメッセージ】

連携・チームワークは、それぞれの分野の持つ専門的な役割と機能に、お互いに関心を持ち、
 敬意を持つことが基本となります。積極的に授業に参加し、知識の獲得に努力しましょう。